

第28回関東産業衛生技術部会研修会「産保合同シンポジウム・ストレスを考える！」

日時：2012年8月31日（金）13:15～

場所：順天堂大学9号館2階（8番教室）

費用：1,000円（懇親会参加費：4,000円）

申込先：合同シンポジウム事務局 kataroukai@jcom.home.ne.jp

<スケジュール>

13:15～

開会挨拶 さんぽ会事務局長 福田洋（順天堂大学医学部）

日本産業衛生学会関東産業衛生技術部会長 田中茂（十文字学園女子大学）

13:20～

シンポジウム①（さんぽ会（産業保健研究会）担当）

「メンタル復職ケースから1次予防の可能性を探る～もぐらたたきで終始しない、求められる企業のメンタル対策とは？」

■ファシリテーター 順天堂大学福田洋

■シンポジスト

産業医の立場：三井物産(株)半井英夫

保健師の立場：ライオン(株)田澤美香代、三井化学(株)楠本真理

経営人事の立場：ライオン(株)高倉孝生、KPMG橋本正己

■サマリー

29歳男性の復職事例からメンタルヘルス対策を考える。産業医・保健師・経営人事の立場から復職に関する実際の連携や1次予防活動の実例を紹介する。さらに人事の立場の考え方経営が考えるメンタル予防と産業保健職に期待することなどを討議していく。さらに、もぐらたたきに終始しない1次予防活動から2次予防活動へバトンタッチなど、会場も巻き込んでタックルしていきます。

14:30～

基調講演「ストレスと睡眠について」

北里大学医療衛生学部健康科学科精神保健学研究室 教授田ヶ谷浩邦

15:30～ 休憩

15:40～

シンポジウム②（労働衛生を語ろう会担当）

「ストレス対策の1次予防人事から見る健康、産業保健から見る仕事」

■シンポジスト

(株)Ds'sメンタルヘルス・ラボ 原雄二郎／産業医

産業医・精神科専門医、東京大学大学院で川上教授・島津准教授に師事し、ワーク・エンゲージメントを研究。現在は、臨床とともにDs'sメンタルヘルス・ラボ代表取締役として、職場の活性化やストレスマネジメントについて指導。

(株)ニコビジネスサービス 對木 博一／人事・衛生管理者

北里大学衛生学部産業衛生学科卒、ニコンでは人事労務を約15年、労働衛生を約9年担当。危険有害物管理から過重労働、ストレス、メンタル問題に労務・労働衛生の両面から多様な人事問題に携わる。日本産業衛生学会員、十文字女子大学非常勤講師、中央労働災害防止協会講師、労働衛生を語ろう会副会長。

中央労働災害防止協会 三觜 明 / 産業保健・衛生管理者

北里大学衛生学部産業衛生学科卒、SHP・THP・心の健康づくりを一貫して担当。職場の1次予防活動を中心に事業所に教育・指導を実施。日本産業衛生学会員。労働衛生を語ろう会会長。

■サマリー

現在のストレス対応は、健康に不調を感じた時労働者自らが相談し、産業保健職から指導・教育を受ける。また、企業健康教育は、職業性簡易ストレス調査表など、労働者個人の自覚症状の調査が中心に展開されている。つまり、健康不調として顕在し、その症状に個別対応している。所謂2次予防活動が中心である。

今回は、労働者の健康不調の原因となるストレスを特定すること。感受性やストレス耐性などの個人特性のみならず、職場環境として物理的要因、人間関係やコミュニケーション、仕事の命じ方など、組織の制度や風土によるストレスにも言及する。疾病対応のマネジメントから、健康維持のためのマネジメントへ。ネガティブからポジティブなど、人事労務が担当する人財活用や能力開発、産業保健が担当する心と体の健康確保とを融合し人財そのものに着目します。人事と産保の究極の協働は、ワーク・エンゲージメントでは？

16:40～質疑応答

17:00～懇親会（参加希望者）「シンポジストと語ろう！」